

## 4 .rcx ファイルの使用

CiscoWorks Network Compliance Manager ソフトウェア (NCM) のプロパティ ファイルは、.rcx 拡張子を使用します。NCM は、.rcx ファイルを逆アルファベット順に読み込みます。特定の設定が複数の .rcx ファイルから構成されている場合、NCM は最後に読み込んだ値を使用します。そのため、adjustable\_options.rcx ファイル内の設定は、NCM でインストールされた他の .rcx ファイルよりも優先されます。



起動時に、NCM は jre ディレクトリ内のすべてのファイルを読み込み、その内容を NCM の設定向けに解釈します。このため、.rcx ファイルのすべてのバックアップ コピーを NCM のルート ディレクトリ以外に保存します。

水平スケーラビリティ環境では、NCM は .rcx ファイルではなく、ほとんどの設定の実際の値を NCM コア全体で共有します。NCM コアで設定が変更されると、その設定は他の NCM コアに複製されます。変更が複製される間に NCM コアが動作していない場合、その NCM コアは変更を受け取りません。その場合は、後から [Admin] > [Distributed] > [Renew Configuration Options] ページを使用して変更内容を他の NCM コアにプッシュします。



appserver.rcx ファイルの分散システム オプションのセクションには、1 つの NCM コアに特有の設定がリストされており、NCM コア間で共有されません。

一部の設定変更には、.rcx ファイルの変更が伴います。.rcx ファイルは、次のディレクトリにあります。

- *Windows* : %NCM\_HOME%\jre\
- *Unix* : \$NCM\_HOME/jre/




.rcx ファイルは、常に注意しながら編集してください。これらのファイルは、XML 形式を使用します。.rcx ファイルが無効な XML で結果を変更した場合、NCM コンソールが正常に起動しない場合があります。



設定変更は、すべて adjustable\_options.rcx ファイルの中で行うことをお勧めします。NCM パッチのインストールと製品のアップグレードにより、NCM でインストールされた他の .rcx ファイルが上書きされてしまう可能性があります。

.rcx ファイルの一般的な変更プロセスは、次のとおりです。

- 1 .rcx ファイルを \$NCM\_HOME (Windows 上の %NCM\_HOME%) ディレクトリ以外の場所にバックアップします。  
(NCM はすべての .rcx ファイルを NCM ディレクトリ構造の中で読み込みます)。

- 2 説明に従って、新しいコンテンツを追加したり、既存のコンテンツを更新したりします。
  - 3 .rcx ファイルを保存します。
  - 4 次のいずれかを実行し、.rcx 設定を再ロードします。
    - NCM コンソール の [Admin] > [Administrative Settings] > [User Interface] ページで [Save] をクリックします。
    - NCM プロキシから reload server options コマンドを実行します。
    - NCM サービスを再起動します
-  変更内容の一部は、NCM サービスが再起動されるまで有効になりません。